

KIITO:

福祉事業所での仕事や商品について、みんなで考える 「福祉事業所の仕事は誰のため？」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、神戸市と共催で、トークイベント「福祉事業所の仕事は誰のため？—工賃向上と持続可能性に向けての対話」を開催します。

今回のイベントは、福岡県を拠点に「企業」と「福祉」の柔軟な関わり方を提案する「株式会社ふくしごと」の代表を務める橋爪大輔さんをゲストにお招きします。「ふくしごと」の活動事例などをお話いただきながら、参加者同士でディスカッションを行い、事業所での工賃向上や商品の販路拡大の課題を起点に、持続可能な事業所のあり方について考えを深めます。

障害のある人の就労や生産活動を提供する場所として、福祉事業所があります。この福祉事業所は市内に約350か所あり、6,000人を超える利用者が、ものづくりや軽作業、アート活動などに携わっています。福祉事業所での仕事や、そこでつくられる商品について理解を深めることは、新たなものづくりやビジネスの可能性、誰もが働きやすい環境づくりのアイデアにつながるかもしれません。

福祉事業所の運営に携わる方はもちろん、福祉の仕事に関心のある方、普段の仕事で悩みを感じている方など、多様な方のご参加をお待ちしております。

【開催概要】

催事名：福祉事業所の仕事は誰のため？—工賃向上と持続可能性に向けての対話

日時：2025年1月30日（木）19:00～21:00

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F 300

ゲスト：橋爪大輔（株式会社ふくしごと代表取締役、株式会社ダイスプロジェクト代表取締役 CEO）

参加費：無料

定員：30名（事前申し込み制、申込多数の場合は抽選）

対象：福祉事業所の方、福祉や福祉にまつわる仕事に興味・関心のある方

申込：KIITO ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください。

申込期間：1月7日（火）14:00～1月26日（日）23:59

※1月27日（月）中に抽選結果をメールにてご連絡いたします

主催：神戸市、デザイン・クリエイティブセンター神戸

【当日の進行（予定）】

- 19:00～19:05 はじめに（5分）
19:05～19:20 トーク① 「ふくしごと」の事例紹介（15分）
19:20～19:35 グループディスカッション①（15分）
19:35～19:50 トーク② 商品力向上や販路拡大に必要なこととは？（15分）
19:50～20:05 グループディスカッション②（15分）
20:05～20:20 トーク③ 持続可能な福祉事業所の在り方とは？（15分）
20:20～20:35 グループディスカッション③（15分）
20:35～20:55 質疑応答（20分）
20:55～21:00 まとめ（5分）

【ゲストプロフィール】



橋爪 大輔（株式会社ふくしごと代表取締役、株式会社ダイスプロジェクト代表取締役 CEO）
2002年にまちをデザインする「ダイスプロジェクト」を設立し事業、都市、地域、建築、情報のデザインにより企業や地域のサポートを行う。2010年に九州のワクワクを掘り起こすWEBメディア「アナバナ」事業企画運営。2015年にふくしをデザインする「ふくしごと」設立し障害者就労施設の経営支援や、厚生労働省障害者雇用援助事業の認定企業として企業の障害者雇用支援を行う。持続可能な社会の実現を目指し、デザインの力で多様なプロジェクトに取り組んでいる。

【イベント開催の経緯】

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、2018年に「+クリエイティブゼミ vol.28 障害者福祉編 障害福祉サービス事業所とそこで製作される「ふれあい商品」の未来をデザインする」を開講したことをきっかけに、そこから生まれたアイデア、神戸市内の福祉事業所の情報をカタログのように閲覧でき、ゼミから新しい仕事やつながりが生まれることを目的としたウェブサイト「ふくしワザ」の運営サポートを継続的に行っています。本イベントは「ふくしワザ」のサポートの一環として神戸市と開催する事業です。

【ふくしワザとは？】



神戸の福祉事業所の「ワザ」＝「持っている技術・作ることができる商品」を紹介するサイトです。神戸にある福祉事業所それぞれが「できること」を発信し、商品や作業を発注したい企業・消費者と事業所、双方のニーズをマッチングします。

HP：<https://fukushiwaza.jp/>